



板橋区景観賞 受賞

まちのシンボルである駅舎の保全
修復に努めた事例

東武東上線ときわ台駅舎

東武鉄道株式会社／株式会社オー・エヌ・オー大野設計

所在地：板橋区常盤台 1-43-1

竣工：2018 年 5 月

1935 年（昭和 10 年）に開業した東武東上線の武蔵常盤駅（現在のときわ台駅）の駅舎改修及び駅事務室の増築である。

駅の北口一帯は常盤台住宅地として、欧米の住宅地計画に倣った街路パターンとゆったりとした敷地を有する閑静な住宅地となっている。

駅舎は、開業当時から地域のシンボルとして親しまれてきた象徴的な建築物であることから、青色スペイン瓦の三角屋根やその下に配された縦長の三連窓、大谷石の壁面といった要素や素材を継承するとともに、改札上部の欄間のデザインは過去の写真を参考にするなど、開業当時のデザインや色使いを可能な限り再現することで、地域の歴史・文化的資源を生かした趣のある景観形成に寄与している。

また、特徴的な破風板については、開業当時の塗装色に限りなく近づけるため、塗膜の調査分析まで実施している。

さらに、増築された駅事務室の外壁も駅舎との調和を意識したデザインとなっており、駅舎や常盤台住宅地の歴史や成り立ちを紹介したパネルを設置したギャラリースペースとして活用することで、地域貢献を果たしている。